

市民活動及び協働の課題における深掘りされた原因

○推進委員から意見を以下のとおりまとめました。

とりまとめた意見	意見数	取組みの方向性(改定指針)
①多様な主体(市民活動団体・行政等)が、他団体と交流し理解する機会がない。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・行政職員への効果的な研修 ・協働の手法等の周知 ・多様な主体と交流することの意義の明確化と周知 ・協働の主体の拡大
②市民活動団体の相談窓口となる機関がない(行政が、市民活動の相談支援する機関となっていない)。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の活動目的や活動内容の明確化・透明化 ・担い手育成 ・相談やコーディネートの実(特に人材育成や資金調達)
③市民が、市民活動に参加する魅力を感じていない。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・理解しやすい広報 ・効果的な情報発信 ・市民が触れることができる機会の設定 ・団体の活動目的や活動内容の明確化・透明化 ・市民活動へ参加する機会の提供 ・インセンティブを付与する等、参加モチベーションの向上 ・団体向けに参加者の負担の軽減の周知・啓発 ・団体向けに活動の対価の周知・啓発
④行政が、市民活動を理解していない。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・行政職員への効果的な研修 ・行政の組織体制や人事制度の見直し
⑤市民活動団体が、安定した資金調達ができていない。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・団体に向けて資金の調達の重要性や意義の周知・啓発
⑥市民活動団体が活動するうえで必要なICTに関する十分なモノ・スキルがない。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBによる手法の周知
⑦市民活動・協働を客観的に評価する取組みがない。	4	改定指針に取り組みの方向性記載なし
⑧市民活動団体において、自分たちの取り組む活動が、地域に貢献しているという意識がない。	4	改定指針に取り組みの方向性記載なし

※同一人物から、繰り返し提出された同じ意見は1件としてカウントする。

市民活動及び協働の課題における深掘りされた原因

○推進委員から提出された全意見

分類	項番	だれが	どんな	取組みの方向性(改定指針)
①多様な主体(市民活動団体・行政等)が、他団体と交流し理解する機会がない。	①-4	市民活動団体	他の組織との交流・連携の機会が少なく、互いの活動を十分に理解していない。	<ul style="list-style-type: none"> ・行政職員への効果的な研修 ・協働の手法等の周知 ・多様な主体と交流することの意義の明確化と周知 ・協働の主体の拡大
	⑬-1	市民活動団体	行政と市民活動団体双方の関係のアプローチの不足	
	⑬-2	市民活動団体	行政と市民活動の協働が、広報メリットと補助金など、結局経済的な事情に終始してしまいがち。	
	⑨-3	市民活動団体	外部とつながる機会がない	
	⑪-2	市民活動団体	団体が他の団体の活動内容を知ることがない	
	①-1	市民活動団体	明確になった自己の行動理念をふまえて、多様な他者と協働する準備ができていない	
	③-4	市民	協働のレベルが浅く、行政と接する機会が少ない	
	⑬-1	行政	双方の関係のアプローチの不足	
	⑨-4	行政	外部とのつながりの重要性やメリットを周知できていない	
	①-5	市民活動団体・行政	多様な市民活動団体と行政の対話的行動が不足している。	
	③-5	行政	市民活動を知る機会が少ない	
	⑨-1	行政	きっかけをつくれしていない	
	①-2	行政	市はSDGsや国際セーフコミュニティなどの認証を取得しているが、市民生活の実感や現場の声を反映せず、認証取得後の事業展開や市民活動との接続などが行われていない。	
②市民活動団体の相談窓口となる機関がない(行政が、市民活動の相談支援する機関となっていない)。	⑤-2	市民活動団体	支援機関も支援のあり方を先行して変えていくべき	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の活動目的や活動内容の明確化・透明化 ・担い手育成 ・相談やコーディネートの実施(特に人材育成や資金調達)
	⑥-1	市民活動団体	助力が欲しいのに相談する人がいない	
	⑥-3	市民活動団体	どんな役割があると活動がスムーズになるのか分からない。	
	⑦-6	市民活動団体	支援を受けながらも自立ができるようなバックアップ体制を行政が整える	
	⑦-7	行政	市民活動の情報発信のためのサポートを十分にしていない	
	⑪-4	行政	市民団体への支援が不足している	
	⑫-1	行政	団体のリーダー育成研修等の周知不足	
	⑩-2	行政	組織運営のノウハウを共有する支援が不足している	
	⑫-2	行政	人材育成の支援メニューの周知が不十分である	
	③市民が、市民活動に参加する魅力を感じていない。	②-4	市民	
④-1		市民	見返りを求める	
⑤-1		市民	少しでも関わられる部分で関わる努力をする	
⑥-2		市民	説得力を感じず、自分事として捉えられなかったり、魅力を感じられない。	
①-8		市民	目的意識が希薄	
⑤-3				
⑥-4				
⑧-2				
⑦-1		市民	その活動を社会貢献(市民活動)と認識しない	
①-6		市民	個々人は、行政の方針やしていること、サービスを知らず、市民活動団体がしていることも知らず、関心が持てないスバイラルに陥りがち。	
⑨-2	市民	市民活動を知らない		
④行政が、市民活動を理解していない。	⑤-4	行政	市民活動を推進する意識が弱い	<ul style="list-style-type: none"> ・行政職員への効果的な研修 ・行政の組織体制や人事制度の見直し
	⑥-5			
	⑦-3	行政	市が求める「市民活動」の敷居が高い	
	③-2	行政	全部やろうと思わない(行政外部への役割分担をできるようにする)	
	③-3	行政	行政は、サラリーをもらいながら、税金(経費)をかけず事業を推進したい。	
	①-3	行政	広義には、地域住民の暮らしを守り豊かにするという本来の行政の存在意義と密接につながっているという意識が十分に醸成されていない。	
	①-3	行政	狭義には、各部署での日常業務レベルにおいて、市民活動との接点および協働の必要性を意識化(自分事化)する契機が乏しい。	
⑬-3	行政	多忙で余裕がない		
⑤市民活動団体が、安定した資金調達ができていない。	②-1	市民活動団体	会費以外の収入(補助金など)を得ていない	<ul style="list-style-type: none"> ・団体に向けて資金の調達の重要性や意義の周知・啓発
	③-3	市民活動団体	市民団体は、活動費(自分たちの労働賃金)を確保しながら、活動を推進、継続したい	
	②-2	行政	市民活動団体への助成金等の情報発信・説明会が必要	
	②-3	行政	一時的な補助金制度などが多く、自立運営できる団体は育ちにくい。	
	⑩-1	行政	きちんと利益を考え、最低限のサポートと成長のために必要な「投資」を理解する。	
⑥市民活動団体が活動するうえで必要なICTに関する十分なモノ・スキルがない。	⑧-1	市民活動団体	欲しい情報を得るために必要なICTスキルがない	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBによる手法の周知
	⑪-1	市民活動団体	目的の情報を得るための情報システムが存在しない	
⑦市民活動・協働を客観的に評価する取組みがない。	⑪-3	市民活動団体	どのような市民活動団体が信頼されて評価されるのか分からない。	
	⑫-3	市民活動団体	市への活動の貢献度を客観評価し、それを活動理念にするリーダーが少ない。	
	⑦-8	行政	市民活動の仕分けや分類をしていない	
	⑦-2	行政	市民活動として認知されるような後押しが足りない	
⑧市民活動団体において、自分たちの取り組む活動が、地域に貢献しているという意識がない。	①-7	市民活動団体	次代につなぐ市政では市民協力が不可欠だが、活動団体自身がそれへの貢献についての意識・認識が少ない。	
	⑦-4	市民活動団体	趣味に関する団体が多く、市民活動には隔りがある	
	⑦-5	市民活動団体・行政	例えば、自治会、町会も市民活動団体として当人も行政ももっと認識してもよいのではないかと	
	⑫-4	市民活動団体	理念の共有が十分にされていない	

①原因：市民と行政が、理想を共有していない

		6		7		8	
		原因	補足	原因	補足	原因	補足
解決すべき原因	キーワード	①市民と行政が、理想を共有していない	③市民と行政が、お互い信頼できていないにも通じる	①市民と行政が、理想を共有していない	市民も行政も、次世代につなぐ取組み（持続可能性）についてきちんと理解していないのではないだろうか。	①市民と行政が、理想を共有していない	
原因の深堀①	誰が	行政		行政		市民	
	どんな	さいたま市の推進する方針や事業が、小難しい文章や限られた媒体で発信されるなど身近でなく（これはさいたま市に限られません）、市民は、関心を持ってない。。普段考える機会も余裕もないし、教えてくれたり、話す人もいない。		目先の作業に追われ、その将来像、全体像を見ていない。	日々の実務が目指す全体像を意識していないので、協力が得られるはずの市民活動が多々ありながら見えていない。	本気でない	
原因の深堀②	誰が	市民		市民活動団体		市民	
	どんな	市内（周囲）のコミュニティに属していない人が多い。	地域や自治体によっては、周囲のコミュニティの人が世話を焼いてくれたり、声をかけてくれたり、行事などで年に数回一緒に話す文化があったりするが、さいたま市は衛星都市だけに、互いに接点も持ちにくい。コロナ下、孤独感にも。	次代につなぐ市政では市民協力が不可欠だが、活動団体自体がそれへの貢献についての意識・認識が少ない。	市民が健康で過ごすことも市政への貢献。その貢献度を論理的に認識していない。	目的意識が希薄	
原因の深堀③	誰が	市民					
	どんな	個々人は、行政の方針やしていること、サービスを知らず、市民活動団体がしていることも知らず、関心が持てないバイラルに陥りがち。	行政、市民同士、コミュニティにつながるきっかけは、広報ツールではなかなか難しい。紹介などを介し、コミュニケーションの中で信頼を築くことが必要では。				

②原因：市民活動団体が、活動するための安定的な資金確保ができていない

		1		2		3		4	
		原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足
解決すべき原因	キーワード	② 市民活動団体が、活動するための安定的な資金確保ができていない	団体存続のための一番の課題	② 市民活動団体が、活動するための安定的な資金確保ができていない		② 市民活動団体が、活動するための安定的な資金確保ができていない		② 市民活動団体が、活動するための安定的な資金確保ができていない	
原因の深堀①	誰が	市民活動団体	会員相互の合意と賛同が必要	行政		市民活動団体		市民	収入源となる事業を実施していない
	どんな	活動に見合う十分な会費を徴収できていない		参加費等を好まない		市民活動＝ボランティアの域を脱せず、理念や活動はすばらしくても、行政からの資金、補助金がないと運営が継続できないケースが多い。			
原因の深堀②	誰が	市民活動団体	支援する側の公的団体等の広報等も必要	市民活動団体	自らも積極的に情報を入れ、取り組むことが必要	行政	すなわち、アドバイスやサポートができる人材が不足し、外部が担当することになり、ノウハウなどは残らないシステム。	市民	公的資金に頼りすぎている
	どんな	会費以外の収入（補助金など）を得ていない		助成金などの情報収集能力がない		非営利活動について、現状に則して理解できている人材がいらっしやらない。			
原因の深堀③	誰が	市民活動団体	例えば、クラウドファンディング等を利用した寄付金収入を得る。公益的活動であれば、賛同する人も多いはず。	行政	誰にでもわかる説明が必要。市HPでの情報は事業者には理解できるが難しい。	行政	一時的な補助金制度などが多く、自立運営できる団体は育ちにくい。	市民	持続性への意識が希薄
	どんな	会費以外の収入（補助金など）を得ていない		市民活動団体への助成金等の情報発信・説明会が必要					

③原因：市民と行政が、お互いを信頼できていない

		1		2		3		4		5	
		原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足
解決すべき原因	キーワード	③市民と行政が、お互いを信頼できていない		③市民と行政が、お互いを信頼できていない		③市民と行政が、お互いを信頼できていない		③市民と行政が、お互いを信頼できていない		③市民と行政が、お互いを信頼できていない	
原因の深堀①	誰が	市民活動団体と行政	ディベート気分で勝ち負けにこだわる	行政	推進委員会のように単発的な集団ではなく、行政の活動にあう人材・集団を育成し、その団体に仕事をふればよい。	市民活動団体		市民		行政	市民の能力や可能性を知らない
	どんな	「相手を自分に従わせる」作戦で話し合いのテーブルにつく		行政		なんでもやろとして下さり、抱え込んでいる		お墨付き（広報メリット）と補助金が目当てになりがち。		市民	
原因の深堀②	誰が	市民活動団体と行政	お互いに「相手を利用した」と思う	行政	各課で「わかっている人」が長く存在し（5年以上）今までの流れを伝え後輩を育成したり市民（団体）に対応する。	行政		市民		行政	市民に関心がない
	どんな	双方が協働して成し遂げた達成感・満足感を得られていない		行政		人事異動（いつまでいてくださるのか、理解できる人が担当になるのか等）		行政の事業を遂行するための安い労働力となりがち。		市民	
原因の深堀③	誰が	コーディネーター		行政	市民団体内部のことは、内部で考えてもらう（相談と愚痴のライン引き）継続的に伴走できる人材・団体に任せる（初期育成は行政）					行政	市民活動を知る機会が少ない
	どんな	市民と行政、市民と市民を繋ぐ役割を果たせていない		行政		全部やろうと思わない		市民活動団体が、行政の補助金（税金）をあてにした経営から脱することが求められる。行政は、一時的な資金の提供ではなく、一緒にその活動（事業）を育てる視座が必要。数年では難しいが、行政担当者は異動しがち。			

④原因：市民活動をする人が、自分の活動に積極的な関わり方をしない

		1	
		原因	補足
解決すべき原因	キーワード	④市民活動をする人が、自分の活動に積極的な関わり方をしない	
原因の深堀①	誰が	市民	
	どんな	本気でない	
原因の深堀②	誰が	市民	
	どんな	目的意識が希薄	
原因の深堀③	誰が	市民	
	どんな	見返りを求める	

⑤原因：市民活動団体が、活動内容・方法等を、時代に合わせて迅速に変更しない

		1		2		3		4	
		原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足
解決すべき原因	キーワード	⑤市民活動団体が、活動内容・方法等を、時代に合わせて迅速に変更しない	共働き世代が社会活動をもっと増やすべきだが、総人口で多い高齢者が担っている	⑤市民活動団体が、活動内容・方法等を、時代に合わせて迅速に変更しない	地域や時代、課題とニーズが変化している中で、市民活動は長く変わらないままに進んでいるケースがある。	⑤市民活動団体が、活動内容・方法等を、時代に合わせて迅速に変更しない		⑤市民活動団体が、活動内容・方法等を、時代に合わせて迅速に変更しない	
原因の深堀①	誰が	行政		市民活動団体	一度実施したり、長くやってきたことの繰り返しが楽になる	市民		行政	
	どんな	共働き世代でも、市民活動が出来るサポートを行う		同じことを繰り返してしまふ、新しいチャレンジをしない		本気でない		情報提供やサポートを十分にしていない	
原因の深堀②	誰が	市民活動団体		市民活動団体	SNSの活用、オンラインイベント開催などで新しい会員や賛同者を増やしたり新しい方への発信が弱い	市民		行政	
	どんな	活動時間を平日の昼間だけにせず、土日や平日夜、オンラインなどにも広げる		新しいツールや発信の工夫が出来ていない		目的意識が希薄		市民へのサポート体制が弱い	
原因の深堀③	誰が	市民		市民活動団体	個々の市民活動が変化に対応することは限界があり、支援機関や行政施策が先んじて場や機会をつくるべき			行政	
	どんな	少しでも関わられる部分で関わる努力をする		支援機関も支援のあり方を先行して変えていくべき				市民活動を推進する意識が弱い	

⑥原因：市民活動団体が、活動を発展させた時に求められる変化に対応できていない

		1		2		3		4		5	
		原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足
解決すべき原因	キーワード	⑥市民活動団体が、活動を発展させた時に求められる変化に対応できない	趣味の会一世のため人のための活動へ地元で細々→市全域の活動へ	⑥市民活動団体が、活動を発展させた時に求められる変化に対応できない	⑦市民の市民活動に対する理解が十分ではない(趣味の会=市民活動)にも通じる	⑥市民活動団体が、活動を発展させた時に求められる変化に対応できない		⑥市民活動団体が、活動を発展させた時に求められる変化に対応できない		⑥市民活動団体が、活動を発展させた時に求められる変化に対応できない	
原因の深堀①	誰が	市民活動団体	何が不安なのか	市民活動団体	人の行動範囲が広がり、ライフスタイルや価値観が多様化し、社会課題が複雑化する中、地域のこの属性の人、と対象旧が態依然としている場合が多いのでは。行政もエリアを越えた対応がしにくい。	市民活動団体	役割分担が上手くいかない。	市民	本気でない	行政	情報提供やサポートを十分にしていない
	どんな	人間関係などが大きく変化することへの不安ためらう		テーマと対象者が、時代(文化・価値観)変化に対応できていない。活動範囲、メッセージが更新されていない。							
原因の深堀②	誰が	市民活動団体	受容するための時間が必要	市民活動団体	参加者が新陳代謝しない。高齢化。	市民活動団体	どんな役割があると活動がスムーズになるのか分からない。	市民	目的意識が希薄	行政	市民へのサポート体制が弱い
	どんな	活動の内容・範囲・人数・年齢・思いの多様化を受け入れるのに時間がかかる									
原因の深堀③	誰が	市民活動団体		市民	説得力を感じず、自分事として捉えられなかったり、魅力を感じられない。					行政	市民活動を推進する意識が弱い
	どんな	助力が欲しいのに相談する人がいない									

⑦原因：市民の市民活動に対する理解が十分ではない（趣味の会＝市民活動）

		1		2		3		4		5		6		7		8		
		原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足	
解決すべき原因	キーワード	⑦市民の市民活動に対する理解が十分ではない（趣味の会＝市民活動）	行政も同様	⑦市民の市民活動に対する理解が十分ではない（趣味の会＝市民活動）	団体がある程度の規模と活動実績がないと市民活動と認知されにくい	⑦市民の市民活動に対する理解が十分ではない（趣味の会＝市民活動）	現在、多くの市民活動団体がネットワークに登録されて数々の実績を上げています。ただ、多くの市民はその活動を認識していないのではと想われます。「市民活動」とは「非日常的な活動」との意識があるのではと想われる。（意識の乖離）	⑦市民の市民活動に対する理解が十分ではない（趣味の会＝市民活動）		⑦市民の市民活動に対する理解が十分ではない（趣味の会＝市民活動）		⑦市民の市民活動に対する理解が十分ではない（趣味の会＝市民活動）		⑦市民の市民活動に対する理解が十分ではない（趣味の会＝市民活動）		⑦市民の市民活動に対する理解が十分ではない（趣味の会＝市民活動）		⑦市民の市民活動に対する理解が十分ではない（趣味の会＝市民活動）
原因の深堀①	誰が どんな	市民 その活動を社会貢献（市民活動）と認識しない	市民活動を狭く認識している世の人のためになるならそれは市民活動	市民活動団体 「市民活動としての自覚」と「社会への貢献意識」が低い	行政 市が求める「市民活動」の敷居が高い	市民活動団体 例えば、大宮区市民活動ネットワーク登録基準を見ても、登録団体の要件や活動などもまるでNPO法人の認可のような内容で、さらに、「趣味、娯楽」が対象外になっている。単なる娯楽はもちろんだが、趣味と娯楽を同レベルにしていることはいかなるものか 日本舞踊や書道、短歌、陶芸など多彩な伝統文化を趣味として楽しんでいる団体は数知れずあり、ただ楽しむだけでなく伝統文化の継承に貢献しており、一歩進んで他の団体との連携等で大きな文化活動団体になる可能性を秘めていると思われる。「あなたも文化活動家です。」と目覚めさせることも大切なのではないかと	市民活動団体 地域に溶け込めない	市民 市民活動およびその参加の機会について知る機会が少ない	行政 例えば、地域ぐるみでの下校中の子供の見守りや、まちぐるみで行えば、もっと多くの参加が期待できる	市民活動というものを理解してもらうための周知不足	HP、市報のさらなる活用	市民 市民活動の実態を知らない	行政 市民活動の分析をしていない					
原因の深堀②	誰が どんな			行政 市民活動として認知されるような後押しが足りない		市民活動団体 趣味に関する団体に隔りがある		行政 積極的かつ日常的な地域への、町会へのお願いをしていない		行政 行政の市民への市民活動に対する支援内容の周知が足りない		市民活動団体 市民活動の発信が不足している	行政 さらなる原因：市民活動団体の目的意識が希薄			行政 市民活動の仕分けや分類をしていない		
原因の深堀③	誰が どんな							市民活動団体 例えば、自治会、町会も市民活動団体として当人も行政ももっと認識してもよいのではないか		市民活動団体 支援を受けながらも自立ができるようなバックアップ体制を行政が整える		行政 市民活動の情報発信のためのサポートを十分にしていない						

⑧原因：オンラインの交流に必要な対策がされていない

		1		2	
		原因	補足	原因	補足
解決すべき原因	キーワード	⑧オンラインの交流に必要な対策がされていない	オンライン・コミュニティ、インターネット・コミュニティの構築	⑧オンラインの交流に必要な対策がされていない	
原因の深堀①	誰が	行政	公的な立場では様々な制約に縛られて思うようなシステムが構築できない	市民活動団体	
	どんな	ICT化に及び腰		ノウハウが共有されていない	
原因の深堀②	誰が	市民活動団体	「誰かがやるべき」と思う・言うが「自分がやる」とは言わない	行政	
	どんな	「交流システムが欲しい」と言いながら具体的なアクションをしない		サポート体制が不足している	
原因の深堀③	誰が	市民活動団体	そもそも既存のサイトが交流に向いていない	市民	
	どんな	欲しい情報を得るために必要なICTスキルがない		目的意識が希薄	

⑨原因：市民活動団体が外部とつながりをもつチャンスがない

		1		2		3		4	
		原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足
解決すべき原因	キーワード	⑨市民活動団体が外部とつながりをもつチャンスがない	自治会・PTA・各種協議会等、推進委員会でも色々な立場の方が集まっているが、活用の仕方が不十分	⑨市民活動団体が外部とつながりをもつチャンスがない		⑨市民活動団体が外部とつながりをもつチャンスがない		⑨市民活動団体が外部とつながりをもつチャンスがない	
原因の深堀①	誰が	行政	集めた方々の所属する枠（NPO・自治会等）の中での発信者として活用する。x.「協働や市民活動の発展について」団体としての意見を集約してもらう	市民活動団体	忙しく、また自由に自分たちの想いを形にするには外部との関係性をつくる必要性が無い	市民活動団体		市民活動団体	
	どんな	情報収集の仕方		そもそも多くの市民活動団体は外部とのつながりを求めている		外部とつながりを持つ必要性を感じていない		外部とつながりを持つ必要性を感じていない	
原因の深堀②	誰が	市民	各団体に、必要としている活動は何かを問い合わせてみる。（活動実態がない団体は除く）それから関連団体を紹介する。	行政	行政または支援センターが間雲な連携機会ではなく、相互に必要なかつメリットあるマッチング機会をつくると効果は期待できる	市民活動団体		行政	
	どんな	大部分は受け身		適切な機会を検討・実施する工夫が必要		外部とつながりを持つメリットを知らない		外部とつながりをもつきっかけやイベントがあまり開催されていない	
原因の深堀③	誰が	行政	市民活動についての作文などを市報や学校などで募集する。キャンペーン企画を幅広くうつ。審査は推進委員会などで行い表彰もする。市民活動について幅広く普及できるきっかけを継続的に作っていく。	市民	市民が興味関心を持つ発信や機会を市民活動、支援センター、行政が工夫していく	市民活動団体		行政	
	どんな	きっかけをつくれていない		市民活動を知らない		外部とつながる機会がない		行政が外部とつながる機会や状況を十分にサポートしていない	

⑩原因：市民活動をする一部の人に負担が大きく、負担の分散ができていない

		1		2	
		原因	補足	原因	補足
解決すべき原因	キーワード	⑩市民活動をする一部の人に負担が大きく、負担の分散ができていない	身内にも、課題感を持ち、弁護士資格を保有し、修士号を2つ持っているにもかかわらず、2歳児の保育園入園が拒絶され、市民活動が出来ない人がいる	⑩市民活動をする一部の人に負担が大きく、負担の分散ができていない	
原因の深堀①	誰が	行政		市民活動団体	
	どんな	基礎インフラが整えられていない		組織運営のノウハウが共有されていない	
原因の深堀②	誰が	行政		市民	
	どんな	「平等」という考えに固執しすぎている		本気でない／責任意識が低い	
原因の深堀③	誰が	行政		行政	
	どんな	きちんと利益を考え、最低限のサポートと成長のために必要な「投資」を理解する		組織運営のノウハウを共有する支援が不足している	

⑪原因：団体の連携や、団体が信頼感を得るための第三者（自治体）の介入がない

		1		2		3		4	
		原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足
解決すべき原因	キーワード	⑪団体の連携や、団体が信頼感を得るための第三者（自治体）の介入がない	コーディネーターの不在	⑪団体の連携や、団体が信頼感を得るための第三者（自治体）の介入がない		⑪団体の連携や、団体が信頼感を得るための第三者（自治体）の介入がない		⑪団体の連携や、団体が信頼感を得るための第三者（自治体）の介入がない	
原因の深堀①	誰が	行政	すでにコーディネーターできる人がいるはず	市民活動団体	PRする機会が少ない	行政	どのような市民活動団体があるのか把握しきれていない。	市民活動団体	メリットや可能性を知らない
	どんな	コーディネーターを養成・発掘していない							
原因の深堀②	誰が	市民活動団体	信頼できるシステムが構築されていない	市民活動団体	各諸団体の会議に出向くことがない	行政	どのように市民活動団体を評価すれば良いか指標がない。	市民	忙しい／本気でない
	どんな	目的の情報を得るための情報システムが存在しない							
原因の深堀③	誰が			市民活動団体	活動内容を知ることがない	市民活動団体	どのような市民活動団体が信頼されて評価されるのか分からない。	行政	市民団体への支援が不足している
	どんな								

⑫原因：団体が活動を継続するために必要なリーダーとなる人がいない

		1		2		3		4	
		原因	補足	原因	補足	原因	補足	原因	補足
解決すべき原因	キーワード	⑫団体が活動を継続するために必要なリーダーとなる人がいない	広い意味では人材不足である	⑫団体が活動を継続するために必要なリーダーとなる人がいない		⑫団体が活動を継続するために必要なリーダーとなる人がいない	活動を持続可能（つなげる）にするには、それなりの理論構築が必要だが、それを考えるリーダーが少ない。	⑫団体が活動を継続するために必要なリーダーとなる人がいない	
原因の深堀①	誰が	市民活動団体	団体自らの広報力の不足	市民活動団体		行政	日々の実務に追われるので、協力が得られるはずの市民活動を選択できない。	市民	
	どんな	活動に賛同する人材を多く集められない		既存の運営・活動に満足している		上司が実務の全体像、将来像を意識していないため、部下は日々の実務に追われるばかり。		本気でない	
原因の深堀②	誰が	市民活動団体		市民活動団体		市民活動団体	リーダーが活動の貢献度を普遍的尺度で認識していなければ、活動は単なる趣味活動で終わる。	市民	自分ごとではない
	どんな	内部のコンプライアンスなどでリーダーの重要性・必要性を明確にしていない		次世代のリーダーを育てていない		市への活動の貢献度を客観評価し、それを活動理念にするリーダーが少ない。			
原因の深堀③	誰が	行政	団体にリーダーが必要なことも周知する	行政				市民活動団体	
	どんな	団体のリーダー育成研修等の周知不足		人材育成の支援メニューの周知が不十分である		理念の共有が十分にされていない			

⑬原因：市民活動団体と行政の事業の進め方の違いをお互いが理解できていない

		1		2		3	
		原因	補足	原因	補足	原因	補足
解決すべき原因	キーワード	⑬市民活動団体と行政の事業の進め方の違いをお互いが理解できていない		⑬市民活動団体と行政の事業の進め方の違いをお互いが理解できていない		⑬市民活動団体と行政の事業の進め方の違いをお互いが理解できていない	
原因の深堀①	誰が	行政	条例第8条第1号を進めることの不足	行政		市民活動団体+行政	
	どんな	⑬の課題のとおりとすれば、条例第4条の責務を全うしていない		利益と経費について、現状に則して理解できていない人材があまりいらっしゃらない		お互いを知る機会がない	
原因の深堀②	誰が	市民活動団体		市民活動団体		市民活動団体+行政	
	どんな	自治体へのアプローチを行っていない		ボランティア運営の域を脱せず、資金、補助金部分が協働の目的となりやすい		(相互理解の) 必要性やメリットを感じていない	
原因の深堀③	誰が	行政と市民活動団体		行政と市民活動団体双方		行政	行政による、情報提供や機会の提供が不足している
	どんな	双方の関係のアプローチの不足		行政と市民活動の協働が、広報メリットと補助金など、結局経済的な事情に終始してしまいがち。		多忙で余裕がない	